

宮沢経済産業大臣とプラサド通信 I T大臣との 日印 I T 協力に関する共同声明の概要

平成 2 7 年 4 月

4 月 3 0 日（木）の宮沢大臣とプラサド通信 I T 大臣は、会談後、日印間での新たな I T 協力に関する共同声明に署名。骨子は以下の通り。

1. 日印 I T エレクトロニクス業界の官民協力

日印ジョイントワーキンググループ（JWG）の実施や 3 0 日に開催予定のジェトロ・インドソフトウェアサービス協会（NASSCOM）主催の日印 I T ビジネスフォーラムが成功裏に終わったことを歓迎。

2. ものづくり協力

日本の製造業とインドのソフトウェア分野の相乗効果で日印が Win-Win の関係を築き、ビッグデータなどの新たな分野のインド高度 I T 人材による日印企業のクリエイティブなビジネス、イノベーションを促進する可能性を確認。

3. I T 人材交流

I T 分野での事業・人材交流の推進が相互の投資促進に寄与することを確認。今後、この交流を深化させるため、JWG のアジェンダとして I T ビジネスの促進と、インド I T 人材の活用方策の検討を含めることを確認。

4. 日本で働く外国人 I T 人材倍増目標達成に向けて

宮沢大臣は、2020 年までに日本で働く外国人 I T 人材を 3 万人から 6 万人へ倍増させる目標達成に向け、インドの優秀な I T 人材の呼び込みが不可欠との認識を表明。

5. I T ビジネスアウトソーシング

プラサド大臣は、日印両国での関係機関による調整がインド企業の日本での I T ビジネスアウトソーシング事業を促進するのに重要であるとの認識を示した。

6. 更なる日印協力に向けて

最も有望な新 I T 分野で、更に連携を深めることで合意。

（了）